

**平成25年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 商工労働 課

1. 基本情報

1102

施設名	伊丹市立観光物産ギャラリー		
施設の設置目的	観光物産事業の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 伊丹都市ブランド戦略の推進		
指定管理者の名称	伊丹市観光物産協会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来場者数 (単位: 人)	
	指標の意味	年間来客者数	
	今年度の目標値	32,000	今年度の実績値 32,859

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17	H21	H22	H23	H24	H25 (上期)	H25 (通期)
	来館者数(人)		18,338	26,245	30,336	30,981	32,651	12,601
								-
								-
								-

H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成25年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	5,524	指定管理委託料	5,524
	事業収入（講座料収入等）	20,840	事業収入（講座料収入等）	19,727
	繰越金	2,699	繰越金	2,699
	その他	4,000	その他	9,462
	合計	33,063	合計	37,412
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	6,960	人件費	6,953
	維持管理経費	2,600	維持管理経費	3,117
	事業等経費	22,264	事業等経費	24,653
	その他	1,239	その他	554
	合計	33,063	合計	35,277
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計 - 支出合計	0	収入合計 - 支出合計	2,135

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担） <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入		0	0	0	0	0
（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	-
市の支出		5,306	5,306	5,306	5,320	5,524	-
（内、指定管理委託料）		5,306	5,306	5,306	5,320	5,524	-
実質経費（歳出 - 歳入）		5,306	5,306	5,306	5,320	5,524	-

施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	( 具体的内容 )	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	改装工事が完了し、商品が見やすく、管理しやすいギャラリーとなった。 引き続き、来店しやすいギャラリーになるよう努める。	A	ギャラリー内は、清潔に保たれている。建物の修繕が多かったが、適宜協議し適切に実施できた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	年末年始以外年中無休の施設。 最少経費でローテーション対応している。	B	限られた職員でローテーションを行い、適正配置に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	職員間の緊急連絡網の設定、関係施設との連携を密にしている。	A	適正に実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	利用者のニーズに沿った的確な対応を心掛け、情報提供している。	B	イベント等の情報発信を、ホームページやフェイスブックで行い、周知に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	歴史観光を主としてPRに取組んだ。	A	適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報の取り扱いは少ない。 ホームページでの情報提供を重点的に実施した。	B	適正に実施されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	適切に運営管理している。	B	予算の執行及び帳簿類の保管は適正になされている。
経理処理は、適切に行っているか。		A				

「評価」欄の記号の意味

「A」= 協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」= 協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」= 協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」= 当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	大河ドラマ「軍師官兵衛」効果で増加している観光客や市民へ、伊丹郷町マップの増刷や市内物産品の販売店舗マップを配布し、観光案内・物産品紹介を広く行っており、良好な施設運営が図られている。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」= 管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」= 管理運営が優れていると認められる。

「B」= 管理運営が適正であると認められる。

「C」= 管理運営が改善を要する水準である。

#### 利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
総合案内機能の向上の一環として、来年度より接遇研修等の実施に向けて検討すること。	特別に集合研修は実施していないが、事例を捉えて回覧する等向上に向け努力しています。
阪急・阪神沿線まちあるき事業の受付業務を通じて得た個人情報について、情報漏洩の防止に努める。	個人情報の保護の重要性を周知しています。